

## 人権教育校内教職員研修 1

■ **ねらい**：人権教育を進めていくことの必要性を確認し、「人権教育の指導方法等の在り方について〔第三次とりまとめ〕」に示される指導内容や指導方法の基本的な内容について理解する。また、自校の子どもに付けたい力について考える。

■ **形態**：グループ

(活動内容 6 で、学年や学部の子どもに付けたい力について考える場合は、各担当でグループ編成しておく。)

■ **時間**：70分

■ **準備物**：パソコン    プロジェクター    スクリーン

「人権教育指導の手引き」(以下「手引き」という。)

自校の人権教育目標等が示された資料

(必要があれば) ワークシート    付せん    模造紙    マーカー

### ■ 研修の流れ

	活動内容	留意点
導入 5分	1 研修のねらいを確認する。	○上記の「ねらい」を伝える。
説明 15分	2 人権教育の指導内容や指導方法等についての説明を聞く。	○「指導資料研修用」(PowerPointファイル)を用いる。
演習 40分	3 演習の流れを確認する。(3分)	
	4 学校や学年等の人権教育目標について確認する。(5分)	○特別支援学校は学部別の目標を示してもよい。
	5 学校で見かける、子どもの人権が大切にされていないと思われる姿・言動等について話し合う。(10分)	○子どもの人権が大切にされていないと思われる「姿」「言動」等を付せん等に記入・分類し、活動内容 6 につなげてよい。
	6 学校や学年等の人権教育目標を踏まえ、育てたい子どもの姿、付けたい力(育成したい資質・能力)について話し合う。(15分)	○「人権教育を通じて育てたい資質・能力」の図(「手引き」7ページ)、「発達段階ごとに育てたい資質能力」(「手引き」51～52ページ)等も参考にする。
	7 各グループで話し合った内容を発表し、全体で共有する。(7分)	
まとめ 10分	8 振り返りとまとめをする。	

自校の子どもについて、人権が大切にされていないと思われる姿・言動等として、どのようなものを見かけますか。

どのような姿に育てたいと思いますか。付けたい力（育成したい資質・能力）を具体的に考えましょう。